

改善の基本方針及び改善の具体的事項は何か。

1 改善の基本方針

- 家庭科、技術・家庭科については、実践的・体験的な学習活動を通して、家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業等についての基礎的な理解と技能を養うとともに、それらを活用して課題を解決するために工夫し創造できる能力と実践的な態度の育成を一層重視する観点から、その内容の改善を図る。
その際、他教科との関連を図り、社会において子どもたちが自立的に生きる基礎を培うことを特に重視する。
- (ア) 自己と家庭、家庭と社会とのつながりを重視し、生涯の見通しをもって、体系的な目標や内容に改善を図る。
- 社会の変化に対応し、次のような改善を図る。
 - (イ) 家族と家庭に関する教育と子育て理解のための体験や高齢者との交流を重視する。
 - (イ) 食育の推進を図るため、食事の役割や栄養・調理に関する内容を一層充実する。
 - (ウ) 社会において主体的に生きる消費者をはぐくむ視点から、消費の在り方及び資源や環境に配慮したライフスタイルの確立をめざす指導を充実する。
- 実践的・体験的な学習活動をより一層重視する。また、知識と技術などを活用して、学習や実際の生活において課題を発見し解決できる能力を育成するために、自ら課題を見いだし解決を図る問題解決的な学習を一層充実する。
- 家庭・地域社会との連携という視点を踏まえつつ、学校における学習と家庭や社会における実践との結び付きに留意して内容の改善を図る。

2 改善の具体的事項

- 生活を工夫する楽しさやものをつくる喜び、家族の一員としての自覚をもった生活を実感するなど、実践的・体験的な学習活動、問題解決的な学習を通して、自分の成長を理解し家庭生活を大切にしている心情をはぐくむとともに、生活を支える基礎的・基本的な能力と実践的な態度を育成することを重視し、次のような改善を図る。
 - (ア) 中学校の内容と体系化を図り、生涯の家庭生活の基盤となる能力と実践的な態度を育成する観点から、①家庭生活と家族、②食事のとり方や調理の基礎、③快適な衣服と住まい方、④身近な生活と消費・環境に関する内容で構成する。
 - (イ) 社会の変化に対応し、次のような改善を図る。
 - a 家族の一員として成長する自分を自覚し、家庭生活を大切にしている心情をはぐくむことを目指した学習活動を一層充実する。
 - b 食事の役割や栄養を考えた食事のとり方、調理などの学習活動を一層重視するとともに、身の回りの生活における金銭の使い方や物の選び方、環境に配慮した物の活用などの学習について、他の内容との関連を明確にし、実践的な学習活動を更に充実する。
 - (ウ) 家庭生活を総合的にとらえる視点から、家族の生活と関連させながら衣食住などの内容を取り扱うことを一層重視する。また、小学校第4学年までの学習を踏まえた2学年間の学習のガイダンス的な内容を設定するとともに、他教科等との関連を明確にし、連携を図る。